

「食べる」「歩く」の次は？

つき組 平島

子どもはくり返して育つ

「離乳して自分で食べている」
「歩けるようになって嬉しそう」
「自分で着たり脱いだりしようとする」
同じことを「何度もする」
「終わったと思ったら、一休みしてまた繰り返す」
最近、このようなお子さんの様子をご家庭からお聞きします。みんな、1歳～1歳4か月です。



歩くために、

子どもは、毎日、何度も足腰を鍛える様々な運動をしました。そして、歩けるようになりました。たくさん練習して、達成し、繰り返して十分に満足すると、「次」の興味に移っていきます。

今のつき組の子ども達の興味を
ぎっくりとお伝えすると…

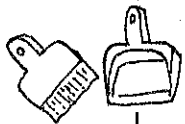
「運動」

全身…歩く次は、登る・運ぶ・走る
指先…今は、主に
食べることに使いたがっている1歳。
着ることに使いたい1歳4か月。



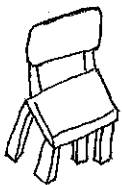
「言葉の吸収」

1歳…主に、物や人の名前など
1歳4か月…家事の道具や自然物の名
場所の名、動詞
指さして尋ねます。



「感覚」

・食べ物から…味、匂い、食感、触感、温度
のど越し、色、大きさ、硬さ
1歳…目に見える掌に触れる物の感触
大きさ(掌サイズ・指先サイズ?)
衣服、布、毛、家具素材の触感
1歳4か月…外気に含まれるすべて
匂い、温度、風力、光、砂や泥、水
植物や落ち葉のすべての違いなど



そして「秩序」

順番や場所、やり方、位置につ
いて「いつも同じでないといや」
と同じである安心感を求めます。
この安心感の中で、興味のある
ことをくり返し、くり返し、触った
り、握ったり、つまんだり。
食べたり、着たりしながら、
たくさんの言葉を聴いて満足出
来たら、次の段階へと成長して
いけるのです。

